

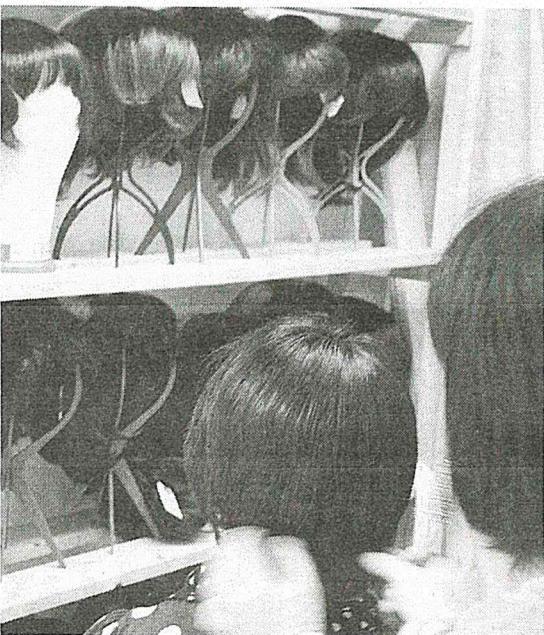
2011年(平成23年)12月30日(金)曜日

がんでも明るく、きれいにー。抗がん剤の副作用で一時的に髪が抜けた女性にかつらを使ってもらい、闘病生活を支えようという動きが九州で活発化している。福岡市の特定非営利活動法人(NPO法人)は高価な医療用かつらを安価でレンタル。鹿児島市の美容室は安価な美容用かつらを自然な髪形に整えるサービスを始めた。がん経験者の女性を中心に、支援の輪が広がっている。

「やっぱりこれにするわ」。先月、福岡市のNPO法人「ウィッグリング・ジャパン」が天神に構えるサロンで、県内の看護師の女性(51)がかつらを手にした。

女性はがんで4月に子宮や卵巣などを摘出し、半年に及んだ抗がん剤治療を終えたばかり。髪は半分ほど抜け落ち、普段は帽子姿で過ごす。だが「来年春に高校生の娘の卒業式があるから、このままの髪じゃ困る

## レンタルなど手軽に



好みの髪形のかつらを選び、試着する患者の女性(福岡市中央区のウィッグリング・ジャパン)

## 経験女性ら支援の輪

### がんを学ぶ機会 専門医招き毎月 早期受診呼びかけ

と思って」。かつらを着け直し、ほほ笑んだ。

同NPOの上田あい子代

表(37)によると、がん患

者らが利用する医療用かつ

らは内側に伸縮するネットの合計5250円を支払え

ば1年間借りられ、1回は

と第4土曜日、闘病の悩み

と第4土曜日、闘病の悩み